

平成26年10月 1日

保護者の皆様へ

加茂市長 小池清彦

自転車の事故を完全になくするために

先日、加茂市内で、自転車に乗っていた中学生が自動車にはねられて死亡された、いたましい事故がありました。

私達は、自転車の事故を完全になくするために、全力を挙げなければなりません。

自動車がたくさん通る中で、自転車に乗ることは、きわめて危険であることは、誰もが認めることであります。

私も、若い頃は、自転車をこの上なく愛用し、サイクリングを楽しんでおりましたが、当時は、自動車はあまり通らない時代でございました。

しかし、自動車がきわめて多く、ひんぱんに通るようになった、現在においては、私はとても危険なので、自転車に乗る気になれず、自転車の運転をやめざるをえなくなっております。

そこで、小中学生のいたましい自転車の事故を完全になくするための一番の方策は、なるべく自転車に乗らないようにすることであると私は思います。

つきましては、このたび別紙の文書を小中学生の皆様差し上げた

次第でございます。

文書には、なるべく自転車に乗らない方がよいと思うという私の思いと、どうしても自転車に乗らなければならないときは、必ずヘルメットを着用するよう心がけること等の大切なことを書かせていただきました。

皆様におかれましては、私の切なる思いを御理解下さいまして、皆様のこの上なく大切な御子様を十分に指導され、しっかりとお守りして行って下さいますよう、衷心よりお願い申し上げます。

平成26年10月 1日

小学生・中学生の皆さんへ

加茂市長 小 池 清 彦

自転車の事故を完全になくするために

先日、加茂市内で、自転車に乗っていた中学生が自動車にはねられて死亡された、いたましい事故がありました。

私達は、自転車の事故を完全になくするために、一人ひとりが精一杯気を付けなければなりません。

- 1 自動車がたくさん通る中で、自転車に乗ることは、きわめて危険であることは、誰もが認めることです。
- 2 自転車には、なるべく乗らないようにするのがよいと思います。
- 3 そして、なるべく徒歩かバス等を利用するのがよいと思います。
- 4 どうしても自転車に乗らなければならないときは、
 - (1) 必ずヘルメットを着用するよう心がけて下さい。

- (2) 自動車がひんぱんに通る道へは、なるべく出ないように心がけましょう。
- (3) 先生や保護者の方々の御指導に従って、交通ルールをよく守って下さい。
- (4) 歩道を通ってもよいことになっているところは、歩道を通って下さい。
- (5) 暗くなってからの運転は、やめましょう。